

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 3 月 25 日(2024.3.25)

【公開番号】特開 2023-163028(P2023-163028A)
【公開日】令和 5 年 11 月 9 日(2023.11.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-211
【出願番号】特願 2022-73824(P2022-73824)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 3 月 14 日(2024.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機であって、
表実装面に複数の発光体を実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
直線上に並んだ文字列によって構成される固有の管理番号が付されており、
前記複数の発光基板のうちの第 1 発光基板の表実装面には、単色でのみ発光可能な単色
発光体を実装され、
前記複数の発光基板のうちの第 2 発光基板の表実装面には、多色発光可能な多色発光体
が実装され、
前記単色発光体は、前記第 1 発光基板の表実装面に直線上に並んで付される管理番号に
対して水平又は垂直となるような向きで前記第 1 発光基板の表実装面に配置され、
前記多色発光体は、少なくとも特定多色発光体を含み、該特定多色発光体は前記第 2 発
光基板の直線上に並んで付される管理番号に対して傾斜するような向きで前記第 2 発光基
板の表実装面に配置されるものであって、
さらに、前記多色発光体に対応する情報表記が前記管理番号とは異なる視認態様で前記
第 2 発光基板に設けられ、
さらに、前記管理番号は、前記特定多色発光体を実装される基板面だけでなく、該基板
面の反対側の基板面にも設けられ、
さらに、前記特定多色発光体の輝度を遊技者操作により調整可能な輝度調整手段を備える
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、始動口に遊技球が入賞したこと(始動条件の成立)に基づいて大当たりとするか否
かの抽選を行い、抽選結果が大当たりとなった場合には、図柄を変動表示する表示装置に大

50

当り図柄を停止表示して大当り遊技を発生させる遊技機がある。このような遊技機には、LED等の発光体が設けられ、表示装置の表示に関連して発光体を発光させて遊技興趣の低下を抑止するようになっている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０２１－０４９４４６号公報

10

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、上記した従来の遊技機では、発光体を発光させて遊技興趣の低下の抑止を図るために未だ改善の余地がある。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、発光体を適切に発光させて遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【０００７】

請求項１に係る発明によれば、
抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機であって、
表実装面に複数の発光体を実装される複数の発光基板を備え、
該複数の発光基板には、
直線上に並んだ文字列によって構成される固有の管理番号が付されており、
前記複数の発光基板のうちの第１発光基板の表実装面には、単色でのみ発光可能な単色発光体を実装され、
前記複数の発光基板のうちの第２発光基板の表実装面には、多色発光可能な多色発光体
が実装され、
前記単色発光体は、前記第１発光基板の表実装面に直線上に並んで付される管理番号に
対して水平又は垂直となるような向きで前記第１発光基板の表実装面に配置され、
前記多色発光体は、少なくとも特定多色発光体を含み、該特定多色発光体は前記第２発
光基板の直線上に並んで付される管理番号に対して傾斜するような向きで前記第２発光基
板の表実装面に配置されるものであって、
さらに、前記多色発光体に対応する情報表記が前記管理番号とは異なる視認態様で前記
第２発光基板に設けられ、
さらに、前記管理番号は、前記特定多色発光体を実装される基板面だけでなく、該基板
面の反対側の基板面にも設けられ、

50

さらに、前記特定多色発光体の輝度を遊技者操作により調整可能な輝度調整手段を備える
ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機においては、遊技興趣の低下を抑制することができる。

20

30

40

50